

安全水準についての冷静な議論が不足していないか？
地域の主体性と責任の範囲？

長期を掛けた高台、高盛土移転で、共同体存続や毎日の生活に問題はないのか？

地元負担のない復興予算が、地域の特性を活かした多様な解決策を阻害していないか？

大規模災害

復興の在り方を考える

まちづくりの視点から、事前に備えるには

日時:2013年2月2日(土)13:15 開場

会場:大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室

大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階 TEL:06-6345-5000

プログラム:

13:30 主催者挨拶

13:45~14:30 (第1部) 報告「女川町他震災復興の地元の現実」

講師:久坂斗了氏(前UR都市機構宮城福島震災復興支援局計画調整第1チーム担当役)

14:30~15:30 (第2部) ディスカッション

「東北の現実から、大規模災害後の復興を考える～我々なら、こうする、こう考える～」

パネリスト:岩本康男、小山二生、立間康裕、前田秋夫、松島清、道下弘子

コーディネータ:岡村隆正

テーマ:どこに住む(利便性と安全性)、地域共同体の存続(住み続ける意味、地域のつながり)、
我々の国土・地域の姿(厳しく豊かな自然との接し方、風光明媚)

15:45~16:45 (第3部) 鼎談「本来の復興、技術者の哲学、自然との対峙、国土と文明」

片瀬範雄(元神戸市)、建山和由(立命館大学教授)、平峯悠(地域デザイン研究会理事長)

主催:NPO 法人地域デザイン研究会

大阪府中央区平野町 2-2-8 イシモトビル TEL:06-6231-0550 FAX:06-6202-7201

E-mail:office@npo-rdi.com URL:http://www.npo-rdi.com/frame.htm

資料費:1,000円(学生は無料)



参加申込み

| 氏名 | 所属 | メールアドレス |
|----|----|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

参加申込みは上記に必要事項を明記のうえ06-6202-7201へファクスください。

または <office@npo-rdi.com>へメールください。